

Maneger Coment ~ 中大戦 ~



そこが勝負の綾だった

3分か4分の間なのだけれど

残念です。としか答えられないですかね。闘えなかったというのが率直な気持ち。前半はもったいなかったかなと。チャンスを多く作っていたので。それが決まっていれば...まあ、たればですが。

(後半への指示は両サイドを絞れとは言っていた。それと、回される時間が長くなったら確井を絞ってダブルポランチにしろという話はしていた。リードされていたので、彼らの中ではやっぱり(確井を)前に置きたいという気持ちがあったのかもしれない。(良かった点は)諦めなかったこと。(課題は)ワンポランチでやっているの、金の両サイドのスペースが空くと、このチームもそうだが、2トップのどちらかが引いてきて(やらせてしまう)。そこをどうするのかということ。上手くいっている時は、それをフォローしているし、もう一人フォワードを利かせてとなるのだが、それが遅くなると(やられる)。その辺の話じゃないですか。負けられないので。勝つしかない。

前半の最後の失点が余計だった。うちはこうやるというコンセプトを前半にできなかった。金久保が縦に抜ければ良いのに、湯澤にパスを出したのだけれど、それをカットされてから前に出れなくなってしまった。それは3分か4分の間なのだけれど、それが残り時間の失点した時だから...そこが勝負の綾だった。それは直接(原因)ではなおけれど、

相手のFWが速いので、怖がってしまった

後半みたいに縦に出してくれていれば、(流れが)変わらなかった。うちのやり方で、裏に出して取られて追いかけても、駒大のやり方だからいいよ、となるが、違うことやったから。まあ、仕方ない。ああいう風にボールを回されるのはいつものこと。

今日はカメちゃんや砂川が良かった。相手のFWが速いので、怖がってしまった。しょうがないですね。僕らの指導が悪いですね。そういう話はしているのだが、なかなかうまくいかないというか。(相手の速さは警戒していた?)相手の両サイドは速いし、中盤の二人は上手いので。ただ、ボールを回されるのはそんなに怖くないので、いつものことなだけ、でも、それをなんとかしたいといけない。まあしょうがない。マークの受け渡しなどは何回もいっただが。そういう練習は昨日もおとともいもやった。でも、そういうところをボカしてしまう。例えば、砂川が

↓ 18節終了時点順位表

| 順位 | チーム名 | 勝点 | 試合 | 勝数 | 分数 | 負数 | 総得点 | 総失点 | 得失点差 |
|----|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|------|
| 1 | 明治大学 | 43 | 18 | 14 | 1 | 3 | 40 | 13 | 27 |
| 2 | 筑波大学 | 33 | 18 | 10 | 3 | 5 | 37 | 26 | 11 |
| 3 | 駒澤大学 | 33 | 18 | 10 | 3 | 5 | 27 | 17 | 10 |
| 4 | 国士舘大学 | 33 | 18 | 10 | 3 | 5 | 29 | 23 | 6 |
| 5 | 中央大学 | 31 | 18 | 9 | 4 | 5 | 35 | 29 | 6 |
| 6 | 順天堂大学 | 28 | 18 | 8 | 4 | 6 | 31 | 24 | 7 |
| 7 | 神奈川大学 | 26 | 18 | 8 | 2 | 8 | 25 | 25 | 0 |
| 8 | 早稲田大学 | 22 | 18 | 6 | 4 | 8 | 23 | 27 | -4 |
| 9 | 慶應義塾大学 | 21 | 18 | 6 | 3 | 9 | 26 | 28 | -2 |
| 10 | 流通経済大学 | 20 | 18 | 6 | 2 | 10 | 25 | 29 | -4 |
| 11 | 法政大学 | 11 | 18 | 3 | 2 | 13 | 20 | 41 | -21 |
| 12 | 拓殖大学 | 7 | 18 | 2 | 1 | 15 | 14 | 50 | -36 |

湯澤に(マークを)付かせようとして安心しているが、湯澤はそう思っていない、しゃべらない、そこでカメちゃんや林堂なんかは動いたら砂川に預けようと思うから、ところが湯澤が来ていないから砂川がそこへ行ってしまふ、そうするとそこがポツカリ空いてしまふ、その繰り返しをやってる。何回も言っているが、まあしょうがない。我々の指導が悪い。



前節中大に2-3で敗れた駒大。首位の明大、2位の国士大も勝ちを逃していただけに、この敗戦は非常に悔やまれる結果となった。

順位を見てみると、明大に国士大、そして駒大が敗れたことで、インカレ出場枠争いが激化しており、言うなればまさに「団子状態」である。

次節の相手は首位明大に5-2と快勝した順大。前期での対戦成績は1-0で駒大が勝ち星を手に入れている。さらに、過去9年間の対戦では、一度たりとも順大に敗れ

ていないのである。順大との相性は良好と言ったところか。しかし、順大は前節で首位明大を下し勢いに乗っている。決して油断することは許されない。

注意すべきは得点ランキング6位、アシストランキング4位のFW岡本達也だ。岡本を封じ

ることが勝利の近道である。

「三冠とりたい」中大戦後、金久保彩(経4)は強い眼差しでリーグ優勝への渴きを語った。まだ可能性は0ではない。最後まで闘い続ける赤と黒の勇者たちの姿を、その目にしかと焼き付けよう。(白瀬 忠意)

順大戦プレビュー

明大を破った勢いをのみ込め